



昭和大学藤が丘病院

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

病院だより

2020年5・6月
第334号

病院だより第334号 (2020年5・6月号)
発行者 昭和大学藤が丘病院
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院
発行責任者 藤が丘病院長 高橋 寛
編集責任者 広報委員長 今井 敦
〒227-8501 横浜市青葉区藤が丘 1-30
Tel 045-971-1151

ご支援の御礼

新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療従事者に対して、多くの皆様から労いのお言葉や心温まるご支援を頂戴しております。お気遣いに心から感謝申し上げます。

現在、昭和大学藤が丘病院、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院では、医師、看護師の他、多くのスタッフが治療や院内感染防止に丸となって取り組んでおります。今後も私たちは皆様からのご支援を力に変え、引き続き安全・安心な医療の提供に努めてまいります。

皆様からのご支援に対し、重ねて御礼申し上げます。

藤が丘病院 病院長 高橋 寛
藤が丘リハビリテーション病院 病院長 市川 博雄

◆ご支援くださった方々

(一般の方)

加納 雅美 様 (患者様家族)
馬場 桂 様 (患者様)
板倉 滉 様 (FC フローニンゲン)
宮崎 由美 様 (患者様)

(企業・団体)

渡辺医院 院長 渡辺 励 様
医療法人社団裕正会協田整形外科
理事長 協田 正実 様
森永製菓株式会社 様
タリーズコーヒージャパン株式会社 様
戸田建設株式会社 様
一般社団法人きもの鹿鳴館倶楽部 様
薬学ゼミナール学生支援部 鈴木 俊彦 様
昭和大学父兄会 常任幹事 田中 敏夫 様
学校法人昭和大学経営戦略企画室 石橋 まゆみ 様
株式会社サドライン 様
株式会社日本エスコン 様
株式会社ジャニーズ事務所 様
株式会社豊田自動織機 様
田奈駅前ことり内科 院長 小島 一郎 様
昭友商事株式会社 様
株式会社日立製作所 様
株式会社メイコー 様

令和2年6月15日現在

就任のご挨拶

藤が丘病院 クオリティマネジメント課
小暮 祐二

この度、4月1日付で小金井課長の後任として、藤が丘病院クオリティマネジメント課課長に着任いたしました小暮祐二と申します。



私は平成13年4月の入職以来、学生部事務室学生課、総務部広報室、烏山病院管理課(事務課庶務係)、学事部学務課、学事部大学院・卒後教育課、人事部給与厚生課で勤務し、今回で7部署目となります。

私が学生課に配属されていた当時、学生であった多くの先生方が藤が丘病院の最前線で活躍されております。山口史博講師(呼吸器内科)はサッカー部、鈴木絢子薬剤師は剣道部でそれぞれ部員を牽引され、今と変わらぬ活躍されていた当時の姿を懐かしく思います。

そのような先生方がいる藤が丘病院では、歴史的なパンデミックをもたらしている新型コロナウイルスと懸命に対峙しております。この出口の見えないコロナ禍で、職員の方々は多くの犠牲を払い、自己抑制を働かせながら医療人としての責務を果たしております。

しかしそんな努力を余所に、感染の猛威は緊急事態宣言が解除されてもなお完全なる鎮静化には至っておらず、刻一刻と変化を呈しながら、人々の気の緩みを伺っているように思われます。

このような環境下だからこそ、「出来ることをしっかりと」、「凡事徹底」。この言葉に尽きると思います。3密の回避はもちろんのこと、手洗い、マスクの着用、食事をとる際のマナー等の日頃からの心構えが、新型コロナウイルス撲滅への近道であり、堅実な方策であると思います。

なかなか息絶えない難敵の新型コロナウイルスに打ち克つために、一人一人が責任を持ち、ワンチームとして継続的に行動することが肝要と思います。

小生、微力ながら誠心誠意努力していく所存です。また、この難敵に打ち克つことができた強固なチームワークは、藤が丘病院の更なる発展につながると確信しております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

内科(糖尿病・代謝・内分泌)の診療について

内科(糖尿病・代謝・内分泌)では、主に糖尿病と、甲状腺や下垂体・副腎疾患を代表とする内分泌疾患の診療を行っています。

当科の主な診療内容

糖尿病領域

- ▶ 糖尿病教育(食事・運動療法、内服・インスリン治療、血糖自己測定など)
- ▶ 糖尿病合併症評価(動脈硬化に関する検査など)
- ▶ フラッシュグルコースモニタリングの使用
- ▶ インスリンポンプ治療
- ▶ 栄養指導(カーボカウント導入など)

内分泌領域

- ▶ 甲状腺・副甲状腺疾患治療
- ▶ 各種下垂体機能異常、副腎機能異常、性腺機能異常診療
- ▶ 各種ホルモンスクリーニング検査
- ▶ 各種ホルモン負荷試験(下垂体前葉機能評価、原発性アルドステロン症診断・副腎静脈サンプリングなど)
- ▶ 核医学検査(Basedow 病のアイントープ治療など)

<診療体制>

診療責任者以下、計 15 名で、藤が丘病院および藤が丘リハビリテーション病院の外来と入院診療を担当しています。北部病院甲状腺センターにも、常勤スタッフを派遣しています。

日本糖尿病学会・日本内分泌学会・日本甲状腺学会の認定教育施設であり、日本内科学会総合内科専門医 4 名、日本糖尿病学会専門医 9 名、日本内分泌学会専門医 7 名、日本甲状腺学会専門医 3 名を含むスタッフが診療にあたり、研修医・専攻医の教育・指導も行っています。

<特徴的な治療領域>

糖尿病に関しては、1 型糖尿病・2 型糖尿病のほか、妊娠糖尿病やその他の二次性糖尿病も幅広く診療しています。

外来診療のほか、糖尿病治療のための入院も行っ

ており、内服での治療はもちろん、インスリン治療も多く行っています。また主に 1 型糖尿病を対象とした先進的治療として、持続皮下インスリン注入療法(いわゆるインスリンポンプ治療)も、積極的に導入しています。外来での検査や患者さんの自己管理ツールとして、フラッシュグルコースモニタリング(間欠スキャン式持続血糖測定)も導入されています。他科での手術や治療の際に、必要に応じ併診させていただく機会も多くあります。

内分泌疾患についても、幅広く診療しています。Basedow 病をはじめとした甲状腺疾患については、内服治療のほか、放射性ヨウ素内用療法(いわゆるアイントープ治療)も入院下で行っています。原発性アルドステロン症などの副腎疾患や、汎下垂体機能低下症などの下垂体疾患についても、必要に応じて内分泌学的な負荷試験のための入院や、治療を行っています。

また、救命救急科と連携し、糖尿病ケトアシドーシスや甲状腺クリーゼなどの急性期治療も行っています。

<診療で重視していること>

当科では、以上のように、急性期から慢性期まで、様々な疾患の治療を行っています。いずれにおいても他科や、**周辺の医療機関との連携を重視し、患者さんの立場に立った診療**を心掛け、スタッフ一同日々診療にあたっています。

文責:内科(糖尿病・代謝・内分泌)

橋詰真衣、大塚史子、長坂昌一郎

令和 2 年度入職に際し

藤が丘病院 臨床研修医
前田 和郁

6 月も末。雨に濡れた紫陽花の艶やかさを感じながら、若々しい青葉のすき間に差し込む陽の光に目を細める時節となりました。

今年度より 1 年次臨床研修医として昭和大学藤が丘病院に入職致しました前田和郁と申します。この場をお借りしまして、1 年次代表としてご挨拶させていただきます。本院での研修が始まり早 3 か月が経とうとしています。これまでだけでも多くの先生方に手厚くご指導いただき、多くのことを学ぶことができました。また、多くの職種の方が連携し、医療をよりよいものにしていく姿に何度も心を打たれております。

医師という一人の医療人として、これまで以上に



診療責任者・教授
長坂 昌一郎

日々の行動に責任をもって医療に携わっていきたくて考えております。患者さんに寄り添うよりよい医療を目指すとともに、昭和大学の名誉を高めるべく精進してまいります。これからも何卒、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

決意を新たに目指した看護

藤が丘病院 脳神経センター・SCU
看護師 澤里 葵

私が看護師を目指したきっかけは、看護師としての先輩である母の影響が大きいです。自宅で、がんを患った祖父の世話をする母の姿を見て、看護師としての経験があらゆる場面で活かされることを知り、生涯の財産になり得る職業であると感じました。しかし私は、看護学校在学中に大切な人を失い、自分の無力さや何もできなかった情けなさから、一度は看護師の道をあきらめようと思いました。そんな思いの中、実習先で出会った患者さんが、病による損失を多く経験しながらも前向きに生きようと治療に励んでいる姿をみて、再び看護の道を歩むことを決意しました。

人生での大きな挫折を乗り越え晴れて看護師となった今、自身の経験を活かし、患者さんの良き理解者として心の痛みに寄り添える看護を目指したいと思えます。

また、辛い時に支えてくださった家族や友人、先生など多くの方に感謝し、医療への貢献をしていきたいと思えます。

臨床薬剤師としての研修がスタートして

藤が丘病院 薬剤部
臨床研修薬剤師 安藤 睦実

今年度より、昭和大学藤が丘病院で臨床研修薬剤師として勤務させていただいております安藤睦実と申します。世間では新型コロナウイルス感染症が流行し、昭和大学でも入職式をはじめとする多くのことがレギュラーな状況のなか、医療従事者としての研修がスタートしました。

実際の業務に携わる前に、「理想の薬剤師像」としての自分の考えを整理する機会があり、臨床研修薬剤師一人ひとりが考える薬剤師像に向かい、先輩方のお力添えをいただきながら、精進しております。その様な中

で私が意識していることは、患者さんの問題点や他の医療従事者の考えを汲み取り、自らの考えを分かりやすく表現することです。まずは、調剤業務を通して、処方せんやカルテから正しく情報を収集するための知識や考え方を学んでおります。

今も不安や緊張が続いておりますが、病院薬剤師として、更にチーム医療の一員として少しでも貢献できるよう努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

真に役立つ臨床・研究・教育を行うために

藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーション
理学療法士 本島 直之

4月から昭和大学に入職しました理学療法士の本島直之と申します。私はさらなる臨床技術・研究の向上と教育に従事したいという強い思いから、大学を卒業した後14年間勤務していた伊豆にあるリハビリ病院を退職し、学生時代を過ごした昭和大学で臨床教員として勤務させていただくことになりました。

実習地でもある藤が丘リハビリテーション病院で初心に戻り、患者さんを尊重し、理学療法だけでなくチーム一丸となって行うリハビリテーション室の理念の下、昭和大学に貢献できるよう心掛けていきます。また、臨床に生きる研究活動の実施や、患者さんが心の底で訴えていることに耳を傾けられるような理学療法士を育てていくことにも力を注いでいきます。

社会情勢が大きく変化している昨今ではありますが、自分のやるべきことを見失わず、世の中に貢献できるよう何事にも全力で取り組んでいきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

診療放射線技師としての抱負

藤が丘病院 放射線技術部
診療放射線技師 櫻井 華

今年度より入職いたしました櫻井華と申します。この春、日本医療科学大学保健医療学部を卒業し、診療放射線技師として昭和大学藤が丘病院に配属となりました。私は現在、単純X線撮影を行っています。胸部や骨の撮影にいらっしゃる患者さんは、立ち上がること

が困難な方や大きな装置を前にして不安になる方、体調が悪く悲しい気分になっている方などもらっしまいます。ミスの無いよう精一杯検査を行います。力が及ばず検査時間が長引いてしまう時もあります。そんなときでも、帰り際に感謝のお言葉をいただくと、患者さんのためにも次はもっと上手くできるように頑張ろうと前を向く元気をもらいます。私はこれらの経験からへこたれずに努力を重ね、向上し続けられる診療放射線技師になりたいと思っています。

大学病院で技術を磨き経験を積めることに感謝し、診療放射線技師として患者さんに思いやりと誠意ある「まごころ」を持って接遇し、基本を守り丁寧な業務を心掛け、日々邁進していきたいと思ひます。

今後の抱負

藤が丘病院 臨床病理検査室
臨床検査技師 石川 樹

4月から臨床病理検査室に配属になりました湘央医学技術専門学校出身の石川樹です。私は今後の抱負を3つ掲げています。

1つ目は、業務の基本的なことを適切に身に付け、通常業務を問題なくこなせるようになることです。どのような仕事をするにも基本は大事になってくると思うので、注意する点や工夫する点をまとめながら業務に生かしていきたいと思っています。2つ目は、患者さんに対して思いやりをもって接することです。病院には様々な不安や問題を抱えている方も多くいらっしゃいます。そのような方々に安心して検査を受けていただけるよう、相手の気

持ちを考えながら接していこうと思っています。3つ目は、資格や検定を取得するため日々勉強していくことです。勉強を重ねることで臨床検査技師としてスキルアップできるように、自己研磨に努めていきたいと思っています。

新社会人、また医療人として至らない点もありますが、何事にも精一杯取り組みますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

新しい環境のもとに

藤が丘病院 管理課管財係
柴田 実咲

今年度より昭和大学藤が丘病院管理課管財係に配属された柴田実咲です。生まれは栃木県で、学生時代は高知県、奈良県に住んでおりました。今年から横浜に住むことになり、また新しい場所で新生活を満喫したいと思っています。

私は最初、管財係と聞いて具体的にどういった部署なのか想像できなかったためとても不安でした。しかし、実際に業務が始まってみると、物品購入や修理依頼に関する対応やメーカーさんとの電話対応など、医療材料をきちんと理解する必要があるのだと分かりました。また、人命を預かる病院にとって、臨機応変に且迅速に対応しなければいけない部署だとも感じました。

配属から約1ヶ月が経ち、優しい先輩や上司の指導の下、少しずつですが仕事にも慣れてきました。日々の業務をこなしていく中で、医療従事者の一員としての自覚を持って精一杯頑張りたいと思ひます。まだまだ未熟ではございますが、今後ともよろしくお願い致します。

診療統計 2020年4月・5月

	藤が丘病院		リハビリテーション病院	
	2020年4月	2020年5月	2020年4月	2020年5月
外来患者数	19,129人 (765.2人)	17,030人 (740.4人)	3,048人 (121.9人)	2,152人 (93.6人)
入院患者数	13,324人 (444.1人)	11,717人 (390.6人)	5,074人 (169.1人)	4,847人 (156.4人)
紹介率	73.0%	73.3%	72.2%	78.7%
逆紹介率	99.5%	90.2%	151.4%	153.3%

《広報・公開講座委員会委員》

今井 敦	原田 浩史	佐々木 春明	市川 度	小岩 文彦	中田 土起文	黒木 優一郎
川手 信行	西村 栄一	泉 紀子	高木 睦子	佐藤 郁子	藤宮 龍祥	東 哲士人
岡部 圭吾	斉藤 あずさ	和田 洋一	小泉 春樹	山田 大暉	高橋 良治	(順不同)